

礼拝プログラム

2019年3月17日

司会: 川久兄 奏楽: 石塚姉 通訳: 石塚兄

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「結婚とは(その2)」

"Redefining Marriage (Part 2)"

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: * Benediction

* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のまままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: バークスデル姉、須波姉

ナーサリー: スタンクリフ姉、プロクター姉

チルドレンチャーチ: 西井姉、憩兄

セキュリティー: 西井兄

来週、24日の礼拝

司会: 町田兄 奏楽: ヴォウト姉 通訳: 慶太兄

メッセージ: 「子供のために心がけたいこと」

賛美: 「私たちのこの口は」「主の教えを喜びとし」

アッシャー: ラッド姉、大野姉

グリーター: バークスデル姉、須波姉

ナーサリー: ストーン姉、奏姉

チルドレンチャーチ: クロセッティ姉、仰兄

セキュリティー: 大野兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒアワー、男子会、婦人会
ゴスペル・フラ練習、日英合同執事会

■礼拝によくそいっちゃいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今週、木曜日、午前10時30分よりミラマーのミリタリー・セメタリーでハリス兄のミリタリー式のサービスがとりおこなわれます。このために木曜集会はおやすみです。

■来週24日は、市内でホットチョコレートマラソンがもたれ、このために閉鎖されるフリーウェイがあります。特に北から I-5と CA-163で来られる方は事前にご確認ください(I-15 は問題ありません。その場合、94 West の Exit 25th Street で降りて下さい。)

<https://www.hotchocolate15k.com/sandiego/>

■4月12日(金)、午後7時よりグッドフライデー礼拝をもちます。昨年のように今年もイエス様の十字架の七言を七人の人がシェアできたらと願っています。今年、日語部に割り当てられているイエス様の言葉はルカ23章43節『よく言うておくれ、あなたは今日、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう』、マタイ27章46節『わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか』、ヨハネ19章30節『すべてが終わった』です。シェアをなさりたい方は牧師までお知らせください。

■デボーションのために用いられる「アパ・ルーム」の年間購入申し込みを受けつけています。希望される方は今日中にコラネリ美佐子姉にお申し出ください。

■先週のスーパーファミリーのランチ・ファンドレイズには \$ 1133が捧げられました。皆さんのサポートをありがとうございました。

今週の予定

20日(水) 水曜集会 7:30pm-

23日(土) 母子の会 10:30am-

答へ恵

『あなたは腰に帯して、男らしくこたえよ。わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ』ヨブ38:3

以前、「Courageous」という映画を観ました。五人の男達がそれぞれ失業、死別、反抗、別離、誘惑・・・に直面していきます。二時間ほどの上映中に笑い、涙腺はゆるみ、最後は胸が熱くなりました。

男性健康学の専門家であるアーロン・キプニス博士によると、暴行による犠牲者の70%が男性、殺人犯の80%が男性、ホームレスの85%が男性、エイズの90%が男性、仕事で命を落とす人の95%が男性、監獄にいる人の95%が男性だそうです。

今日のメッセージの中でもお話ししましたが、ある人がこの世界のリーダーの中にもっと女性がいたら回避できた戦争や紛争が多くあったのではないかと考えていたのですが、私もそう思います。

歌手の故河島英五さんが「酒と泪と男と女」という歌の中で「またひとつ女のほうが偉く思えてきた。またひとつ男のずるさが見えてきた」って歌っていますけど、彼は何を思ってこの詩を書いたのだらうと思ひめぐらします。

男子であること、それが私のジェンダーです。ですから「男」であること、「夫」であること、「父」であることを聖書から生涯かけて学び続けたいと思います。もちろん男性のあばら(サイド)からとられた女性の素晴らしさも謙虚に学ばせていただきたいと思います。